



毎日の「当たり前」を大切に



若葉の緑が日に日に美しさを増し、校内にも軽やかな風が通り抜ける季節となりました。

始業式・入学式からおおよそ3週間。子どもたちは新しい学年・学級での生活に少しずつ慣れ、落ち着いた表情で学校生活を送る様子が見られるようになりました。

校内を回っていると、意欲的に学習に向かう子どもたちの姿はもちろんですが、それ以外にもいろいろな様子が見えてきます。体育の授業中、誰もいなくなった教室では、椅子がきちんと机の中にしまわれています。また音楽室前の廊下では、脱いだ上靴がきれいに一列に揃えて置かれています。

椅子をしまうこと、靴を揃えること……。どれも特別なことではなく、「当たり前」の行動です。しかし、その当たり前を毎日丁寧に積み重ねていくことは、決して簡単なことではありません。

1学期の始業式で、今年大切にしたい言葉として「見つめる」というキーワードを子どもたちに伝えました。自分を見つめ、友達を見つめ、毎日の生活を見つめることで、自分や友達のよさに気付き、周りの人や物を大切にしようとする気持ちが育っていくという話をしました。「今、自分はどんな行動をしているかな?」「この行動は、自分や周りの人にとって気持ちのよいものかな?」このように、少し立ち止まって日々の生活を振り返ることが「生活を見つめる」第一歩になります。例えば、椅子を机の中にしまうという何気ない行動にも、「学級のみんなが安全に、気持ちよく過ごせるようにしよう。」という思いが表れています。特別なことではない、当たり前の行動の中にこそ、その人の考え方や生き方が映し出されるのではないでしょうか。だからこそ、自分の生活を見つめ直し、「できる当たり前」を大切にしていきたいと思えます。



5月は、4月の緊張が少しずつ緩み、生活のリズムが崩れやすい時期です。連休明けからは、「生活見直し週間」の取組を行います。早寝・早起き・朝ご飯や歯みがき、元気なあいさつなどについて、チェックカードをもとに点検し、規則正しい生活リズムを早く取り戻せるようにしていきます。ご家庭や地域でも、子どもたちが自分自身の生活を振り返るきっかけとなるような声かけをしていただければありがたいです。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

校長 矢野 裕子
教職員 一同

あなたが今まく種はやがて、

あなたの未来となって現れる (夏目漱石)

未来のために、様々な種をまきましょう。日々の小さな行動を大切にすることが、成功や成長につながります。

中舞鶴小学校
ホームページは
こちらから!

